

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、14日にブラジル政府が公表した650億レアル規模の財政緊縮策を受けたレアルの上昇分を全て吐き出し、再びレアル売りが優勢の展開。3.82台前半で取引が始まると、引けにかけては終始レアル安が進行し、3.86台半ばで取引を終えた。市場参加者は追加緊縮策の公表を一時は好感したもの、その詳細が明らかになると、ルセフ大統領が金融取引税(CPMF)の復活について議会から承認を得ることは困難(記録的な低支持率と、1930年代以降最も長期のリセッションに見舞われている現政権が議会の承認を得るには政治力に不足している)との見方が強まり、レアル売りの反応へ転じた。加えて、中銀のトニビニ総裁が、「政策金利を当面据え置くことで、目標を上回っているインフレ率を十分抑制することは可能」との見解を示したことでもレアルの重石となつた。10日に公表されたCOPOM議事要旨内では、「2016年の予想物価上昇率が再び高まるなら、行動する準備はできている」と強調されるなど、追加利上げに動く可能性も示唆されていた。

本日から2日間の日程でFOMCが開催される。中国ショックの混乱を踏まえると、FRBが本会合で利上げに踏み切るとは想定していないが、特に新興国通貨に対する影響には十分注意したい。

マーケットデータ

Indicator	Unit	9月14日	9月15日	前日比	8月14日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,8154	+0,0468	3,4827	+0,3795
	対円	JPY	31,50	-0,32	35,70	-4,52
	対ユーロ	BRL	4,3194	+0,0333	3,8697	+0,4830
円	対ドル	JPY	120,23	+0,1900	124,31	-3,8900
	対ユーロ	JPY	136,07	-0,37	138,10	-2,40
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	47.282	47.364	+82	47.508	-144
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ)	bps	389,3	381,9	-7,4	305,0	+76,9
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	15,19	15,13	-0,06	13,59	+1,54
DI Future Oct16 (金利先物)	%	14,97	15,01	+0,04	14,10	+0,91
3 Months US Dollar Libor	%	0,336	0,336	+0,000	0,324	+0,012
CRB Index (国際商品指数)	Index	195,8	196,0	+0,2	198,0	-2,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

